

# ウッドロングエコを塗布した ウッドデッキを さらに長もちさせる施工法！



ウッドデッキは、地面に対して平行につくるため常に紫外線や土埃、風雨に晒されます。ここでは「修繕しながら、長もち」を軸にp.23まで3つの施工ポイントをお伝えします。

point  
**1**

## 後々、施主様が自分で修繕できるつくり

木材の性質上、施工後、一部の木材に腐りや大きなフレができることもあります。後々、施主様ご自身でDIY修繕ができる作り方をすると、修繕コストが抑えられます。

### 1-1 床下工法は『大引BP工法』で、デッキ板の交換も簡単！

B(板金)とP(パッキン)により板と板が直に接しないため、デッキ板に腐りの兆候がでたとしても大引まで被害が及ばずデッキ板のみの交換で修繕が簡単手軽にできます。



ビスを抜き傷んだ床板を外す



新デッキ板に旧デッキ板を重ねて同じ所にビス穴を開ける



大引きの上にデッキ板を打つ



詳細は動画で



旧材をカットすれば燃えるゴミに出せます燃料として燃やしても有害物質はでません

#### 『大引BP工法』って？



大引用板金  
サイズ:長さ1m×天端巾95mm×折曲げ10mm  
素材:カラーガルバリウム  
色:ブラウン



階段もBP工法で！

### 1-2 パーゴラやフェンスの支柱は、直に立てる

後々、修繕することを想定し、最初からデッキ板とは別にパーゴラやフェンスの支柱を立ち上げれば、後の修繕は楽です。仮にデッキ板の上に支柱を立てた場合は、デッキ板が先に傷めば、支柱も外さないといけません。



### 1-3 デッキ材の適切なピッチが寿命を伸ばす

#### ✓ 束と束のピッチ

デッキ板(杉赤身 厚み40mm) 最大で900mm

デッキ板(杉赤身 厚み30mm) 最大で600mm

#### ✓ 以下のケースは、ピッチを短くすること

- ・cafeなど大勢の人が利用する
- ・雪の多い地域
- ・デッキ上に重量のあるテーブルをおく

#### ✓ オーバーハンプについて

床板に負荷がかかり床板を傷める原因になるのでお止めください。

NG

